

第68回特別企画展

壱岐の自然展Ⅱ

—壱岐島の海岸植物と植物学者・品川鉄摩—

開催のお知らせ

壱岐市立 一支国博物館

一支国博物館では、来たる令和6年2月16日（金）より令和6年4月7日（日）の会期で、第68回特別企画展「壱岐の自然展Ⅱ —壱岐島の海岸植物と植物学者・品川鉄摩—」を開催いたします。

壱岐島は日本の離島でも比較的大きな島ですが、高地や高い山が無く非常になだらかです。そのため、海岸植物を山の上でも見ることができるおもしろい島です。そんな壱岐島は、海岸部を中心に「壱岐対馬国定公園」に指定されています。

玄武岩の海蝕が作り出す険しい断崖や美しい砂浜を、多くの海岸植物が一年を通して飾り立てます。辰の島などさらに離島の小島には、手つかずの自然が今も残され、まさに海岸植物の宝庫といえるでしょう。

本展では、大正から昭和の時代にかけて、生涯を植物研究に費やした壱岐の植物学者・品川鉄摩氏が遺した膨大で貴重な植物標本と、氏の功績を紹介するとともに、島ならではの海岸植物の生態展示も試みます。

つきましては、下記のとおり、概要をお知らせいたしますので、ご多忙の折とは存じますが、お誘いあわせの上ご来場くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 事業名 / 第68回特別企画展
「壱岐の自然展Ⅱ —壱岐島の海岸植物と植物学者・品川鉄摩—」
- 会期 / 令和6年2月16日（金）～4月7日（日）
- 場所 / 一支国博物館 1階テーマ展示室
- 開館時間 / 8:45～17:30
- 休館日 / 毎週月曜日
- 観覧料 / 無料
- 主催 / 壱岐市立一支国博物館
- 協力 / 山内正志氏（元・壱岐「島の科学」研究会 会長）
- 後援 / 壱岐市、壱岐市教育委員会、
長崎県埋蔵文化財センター、壱岐市観光連盟

※会期や内容が変更になることもございます。

主な展示内容

1 ◆ 壱岐出身の植物学者 ◆ 品川鉄摩

明治・大正・昭和・平成と4つの時代を生きた植物学者・品川鉄摩。教員時代より植物研究に打ち込み、86歳で亡くなるまで植物研究一筋の人生を歩みました。品川が遺した植物研究の偉業とともに、膨大な数の、当時の植物標本を展示します。

2 ◆ 壱岐島の海岸植物ゾーン

海岸植物ってなに？壱岐島の海岸植物の特徴や植生を、イラストと写真でわかりやすく説明します。砂浜や砂丘、そこから切り立つ崖地、外洋の強風が吹きあがる斜面、静かで穏やかな内湾や干潟…。環境が変われば、生育する海岸植物の種類も変わります。

3 ◆ なんと150点以上！壁面展示で魅せる 圧倒的な数の海岸植物標本

品川鉄摩氏と山内正志氏が、壱岐島など各所で調査・採集し、作成した植物標本を、展示室の壁面いっぱいに公開展示します。その数、なんと150点以上！見比べていくと、花びらや葉の大きさ、茎の太さなど、特徴もさまざまであることがよくわかります。

4 ◆ 壱岐島の今を彩る海岸植物の生態展示

壱岐島の代表的な海岸植物を、数種類、一支国博物館の展示室や屋外芝生広場などで生態展示します。

関連講座 【特別講座】みんな、植物と生きている

多くの動物の中でも、人は特に多くの植物に頼って生きている生き物です。人はこれまで、どのように植物を利用して生きてきたのでしょうか。なぜ、今は周りの植物に頼って生きているという実感がないのでしょうか。あらためて、自分の周りの植物を見直してみましょ。

講師／長谷川匡弘氏（大阪市立自然史博物館 学芸員）

日時／令和6年2月18日（日）14:00～

場所／3階 多目的ホール

受講料／無料

定員／180名



関連講座 【特別講座】植物学者・品川鉄摩の功績と壱岐島海浜植物

大正から昭和にかけて、壱岐出身の植物学者・品川鉄摩は、生涯を費やして壱岐の植物を徹底して調べ上げました。その膨大な研究成果を紹介します。また、壱岐の「アコウ」や「スキヤクジャク」が天然記念物になるまでの軌跡と壱岐の新種植物発見秘話もお話します。

講師／山内正志氏（元・壱岐「島の科学」研究会 会長）

日時／令和6年3月24日（日）14:00～

場所／3階 多目的ホール

受講料／無料

定員／180名



関連企画 【いきはくサイエンス】 いきのいきもの [花]

2月に咲く花や木の実などにご注目！じっくりと観察しましょう。

講師／長谷川匡弘氏（大阪市立自然史博物館 学芸員）

日時／令和6年2月17日（土）9:00 開始

集合場所／3階 体験交流室 定員／25名

参加料／100円

持ってくるもの／動きやすい服装、防寒着、軍手、帽子

※要予約。対象年齢あり。



関連企画 【いきはくサイエンス】 いきのいきもの [菜]

野山に自生した食べられる植物を観察・採集し、炒めたり揚げたり調味もしつつ、春の味覚としていただきます。

講師／山内正志氏（元・沓岐「島の科学」研究会 会長）

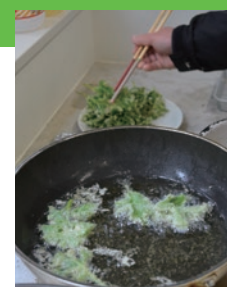
日時／令和6年3月23日（土）9:00 開始

集合場所／3階 体験交流室 定員／25名

参加料／100円

持ってくるもの／動きやすい服装、軍手、帽子、ミニスコップ

※要予約。対象年齢あり。



【参考】 前回・第15回特別企画展「沓岐の自然展」の概要

会期／平成25（2013）年6月21日（金）～8月25日（日）

内容／1・沓岐島の成り立ち

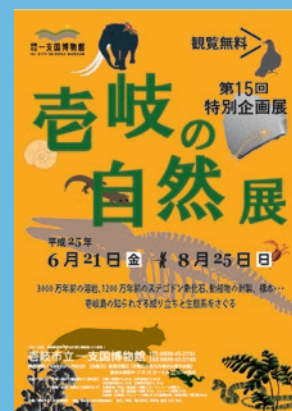
沓岐島の土台を形成する岩石や活発な火山活動から生まれた溶岩など、岩石標本を展示。

2・沓岐の自然

沓岐島が大陸とつながっていたことを裏付けるステゴドンゾウなどの化石、沓岐島に自生する植物の標本、全長約5mのミンククジラ骨格標本などを通じて、沓岐島の豊かな自然を紹介。

3・対馬の自然

お隣の島・対馬島に生息する天然記念物・ツシマヤマネコなどの剥製を展示すると共に、対馬の独特な自然環境をパネルで紹介。



このリリースに関する
お問い合わせ

配信停止などご要望がございましたら、お知らせ下さい。

沓岐市立一支国博物館
担当：広報 松嶋

〒811-5322
長崎県沓岐市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1
TEL：0920-45-2731 FAX：0920-45-2749
m.matsushima@iki-haku.jp

写真はいずれも前回の様子